

令和2年度 第1回 公民館運営審議会 会議録

1 日時・場所 令和2年9月24日(木) 10時00分～11時50分  
三木市役所 5階 大会議室

2 出席者

<委員13名>

稲見秀行委員長	徳沢芳彦副委員長	蓬莱道龍委員
川内正広委員	田中紀美代委員	猪坂克子委員
藤枝直司委員	大島あんず委員	池澤絹代委員
大江実代子委員	冨田敬一委員	藤井泰子委員
冨田 進委員	森岡元子委員	福島康之委員
寺本善英委員	岡本貴美代委員	藤田 均委員

(欠席：藤原敏行委員)

<事務局16名>

西本則彦教育長	石田英之教育総務部長	
河端 康生涯学習課長		
森本 宏館長	藤田敏行所長	大西真一館長
中嶋健二館長	狩場泰治館長	友澤幸嗣館長
金子高士館長	穂積正則館長	西馬英雄館長
藤田良之館長	青田浩一社会教育係長	
中山経子公民館運営係主事		

3 議題 社会情勢の変化に対応した公民館活動について

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人の数 0人

6 会議の概要

---

1 開 会 中山公民館運営係主事

2 あいさつ 西本教育長

3 委嘱状交付 机上交付

4 報 告

(1) 令和2年度三木市教育の基本方針(社会教育分野)について  
(河端生涯学習課長説明)

(2) 各公民館の活動目標及び事業進捗状況について

5 議 題 社会情勢の変化に対応した公民館活動について

6 そ の 他 よろず相談件数、各地推協の報告について

7 閉 会 徳沢副委員長

---

## 7 発言の内容

---

### 議題 社会情勢の変化に対応した公民館活動について

稲見委員長： 今後コロナと共存しながら、どう公民館活動を進めていくかという議事だと思います。例えば、各館の取組の中でありましたDVD回覧やユーチューブ動画での研修など、デジタル化が必須になりつつあります。そういうことも含めて意見ををお願いします。

河端課長： 皆様の会社・団体ではどう取り組んでおられるのか、工夫を教えてください。生涯学習課もまちづくり担当を中心に、ズームを使ったリモートとそれ以外の取組と2班に分かれ研修していく予定にしております。

寺本委員： この審議会の位置づけ、この先どうするかも大切だが、今の取組をどう思うのか審議することも大切だと思う。今回の議事の決まり方を教えてください。

稲見委員長： 基本的には、この会は館長会から諮問を受けたものを議論する場です。

河端課長： 議事は生涯学習課と館長会で相談しながら決めていきました。公民館がどんどん閉館になるなかで、他の公共施設や団体も同じですが、先がわからない状態で、どうして活動していくか皆様のお意見をお尋ねしたいところです。

福島委員： 利用者の健康が大切ではないかと考えます。

徳澤課長： 今までは、各公民館の活動を知り、良いところを各公民館が持って帰るという議事でしたが、今回は今までと違って今後どうしていくのかが求められているので、本日の議題として進行していきます。私の会社では、お客さんと、マスク着用や、タブレットやスマホで顔を見ながら会話しています。一人一人の対応で時間がかかり、どこまで交流できているのか不安な面もあります。その点では小中学校では、どういう風に交流されているのか。

大江委員： 小学校では業間での遊びは減っていますが、その後の手洗いやうがい徹底しています。運動会をどのようにして行うかは、先生方だけでなく子どもたちにも考えてもらっています。運動場という空間で接触の少ない種目案が出てきています。音楽会もクラスごとに行い保護者を呼んでいます。こども園などとの交流は見送っています。

富田委員： 中学校では、如何にクラスターを避けるかで、全校朝会を校内放送で実施したり、行事も学年単位規模まででソーシャルディスタンスを保ちながら実施したりしています。部活動では生徒の着替えは、多人数同室でしない、試合において保護者の観戦はマスク着用と距離の確保をチェックして運営してもらっています。陸上については無観客で大会が実施されました。人と人が交流する中で豊かな心が育まれますので、どういう風にコロナと共存していくか公民館と同じように感染対策をしながら工夫しながら、運営していきたい。

藤田委員： コロナ関連で人数制限も変更されてきている時期なので、館長さん方へのお願いは、ぜひ開催するという強い気持ちで検討していただきたい、周りの団体からの疑問の声があっても、先ほどのリモートなど何とか工夫して開催へのチャレンジをしてほしい。例えば集まるのが無理ならプリント配布した吉川の人権学習のように、とにかく公民館に人が集まってくるように。

寺本委員： 藤田さんの言われる通りで、コミュニティづくりと生涯学習が公民館の柱なので、何らかの方法で実施してほしい。すべてを中止にしたらコミュニティは崩壊します。マスク着用・スリッパや机・手指の消毒などの感染対策を

しながら、会の縮小・分散など検討しながら開催してほしい。デジタル化・リモートコミュニケーションなど人間社会の良さをなくすことにつながらないかと心配しております。例えば中央公民館のQRコードもいいのですが、それだけで満足せずコミュニティづくりも忘れないでほしい。

富田委員： 体温測定、職員や来館者が実施しているか教えてください。

河端課長： 職員は各自毎朝検温し37度5分の発熱で自宅待機、利用者にも同様に37度5分の発熱で利用を控えてもらっています。

富田委員： 私も検温を毎朝行っております。三木東高校でソフトボール女子チームを指導しているが、最近高校から名簿提出や手指や使用した場所の消毒などしてほしいと連絡がありました。東播磨の会議に出席したときに、ある市は出席しない、分担金も出さないと決まったと聞きました。これでは会が続かない。何とか工夫を皆でしていきたい。

蓬萊委員： 寺本さんが言われたように参加人数が少なくても活動していくことが大切だと思います。そのためにも、地域への回覧版でもよいので情報発信をしてほしい。実際4月以降の閉館時に、みんな利用者はいつ開館するのか不安であった。人とのつながり・会話を大切にできる場所が公民館だと思う。

徳沢課長： 公民館で検温をぜひ徹底してほしい。検温を行っていないことが信じられない。

河端課長： 大きなイベント、例えば成人式などでは非接触型体温計で検温する予定です。来館者に公民館職員が全員検温するという指導は特にしていません。

大西館長： 別所町公民館では2台の非接触型体温で利用者の検温を行っています。

狩場館長： 細川町公民館も、何十人と多くの参加者が見込まれる主催行事等では、危機管理課から配布された避難所運営用の非接触型体温計で検温しております。利用団体や少数利用などは利用者各自での自宅検温をお願いしており、すべて検温しているわけでないが、多数が来られるときにはしております。

福島委員： 各公民館で非接触型体温計を購入すればいいと思います。

河端課長： ある館とない館ところもありますので、市場に出回るようになると購入したいと思います。

寺本委員： 名簿作成してほしいです。

河端課長： 名簿作成しております。利用団体によっては誰が参加したが把握できているところには作成依頼していないところもあります。安全対策として消毒液がない公民館はないと思います。利用者の方はマスク着用が普通になり、されていない方はおられません。

稲見委員長： 今日の審議・議事は、これと言って結論は出ないかと思いますが、各公民館で今日のご意見をくみ取り、よろしくお願ひしたいと思ひます。2回目には、まちづくり担当の研修の成果の報告が聞けると楽しみにしています。またネット社会に対応しようと情報発信で努力されているので、その様子も次回に聞けたらありがたいです。

## その他

河端課長： よろず相談件数は、10館126件で、閉館期間もあり減っています。各地区地推協の取組としては、書面議決であったり、ユーチューブやDVD回覧であったり、何とか継続して取り組もうと工夫しております。